

11.管理組合は経済活性化に役立つ組織?

屋内階段の扉ガラスが破損したので、町内にある業者に見積もりを依頼しました。簡単な仕事はできるだけ地元の業者に依頼することの方が便利であるし、わずかなことでも地元が潤ってほしいという考えもあったからです。

数日後に、送られてきた見積書には、25,000円とありました。

たしか、2年ほど前にも同じところを誤って子供が割ったので、当時に委託していた管理会社へ見積もりを依頼し修理したことを思い出しました。

その時の見積もりは75,000円でした。今回も前回の修理も「ガラス保険」を適用するため金額にはこだわる必要はないかも知れませんが、それにしても全く同じことでも3倍になってしまうことは驚きです。

管理会社に頼んでも、テベロッパ、ゼネコン、第一次下請け、第二次下請けに回り、実際の施工者は25,000円の施工費なのかも知れません。

わが国は、伝票を切るだけでお互いに潤うというシステムが成り立っているのでしょうか。

皮肉な見方をすると、マンション管理組合は色々なところにお金を配分することで、案外と日本経済の活性化に役立っているのでしょうか。

マンションは、日本の景気回復の最大功労者かも知れません。

皮肉を込めて・・・